

宗像市市民参画等推進審議会 会議録(要点筆記)

日 時	令和7年8月19日（火）9：00～12:00		
場 所	市役所南館 201 会議室		
委 員	■ 朝倉 拓郎 ■ 今津 理恵 ■ 鈴木 邦治 ■ 高山 國敏 ■ 種田 明美 ■ 中村 昌史 ■ 福岡 佐知子 ■ 水島 直子 ■ 矢野 貴士 ■ 米倉 仁美 (五十音順、敬称略)		
事務局	コミュニティ協働推進課 □田中 ■高山 ■濱本 ■西山 ■井上 ■綱脇		

1. 本日のスケジュール等について

2. 令和7年度宗像市市民サービス協働化提案制度審査会

提案団体：特定非営利活動法人男女共同参画ゆいネット宗像

担当課：男女共同参画推進課

担当課より提案団体の概要、提案事業の内容等を説明し、事業の詳細、担当課意見等について説明を行った。

《質疑応答等》

- (委員) 各コミュニティ・センターと具体的にどうすすめていくのか、協働事業では、成果の測り方についてどのように改善していくのか、また、Instagram のフォロワーが少ない、情報発信が機能しているのか、3点について伺う。
- (提案団体) 現在、コミュニティ・センターと共催事業に取り組んでいるが、事業の実施に至っていない地域があるため積極的に PR していく。今後は DVD 貸出等で小グループでの研修の実施等を働きかけていきたい。情報発信では、Instagram は昨年開設したばかりのため、若年層に届くように検証して実施していく。
- (担当課) 事業評価においては、事業を行うことが目的になっていないか、という課題がある。適切な KPI の設定など、次期プランを策定するにあたり検討している。
- (委員) 宗像市教育委員会が主催した宗像市小中一貫コミュニティ・スクールの全体研修会（於：宗像ユリックス）での講師の話では、セクシュアリティについて、「指導不安のある教職員は8割、教職員に安心して相談できない子どもは94%」と聞いた。教員や子ども達が安心して会話ができるようなアプローチをしてほしい。録画配信については、見逃し配信があると思う。
- (提案団体) 講座申込時に、録画配信希望の有無を聞いている。申込みのある方へ2週間の配信をしている。また、配信については講師の承認を貰っている。
- (担当課) 保護者や教職員も参加できる講演会等を実施している。

- (委員) コミュニティ運営協議会との連携の中で地域にどのように広げていくか、が課題。地域で温度差があると思うので、具体的な事例と一緒に情報発信すると理解しやすいと思う。身近なことで意識していないことが結びつくこともあると思う。色々な場で話をすることが大事だと思う。
- (提案団体) 今後は、出前講座を中心にした共催講座に力を入れていく。男女共同参画部会のない地域には、まずはDVDを使った研修等で進めていきたいと思う。
- (委員) 学校の教員がジェンダー問題について自信がない話があったが、出前講座は大学へのアプローチを積極的にはしてほしい。教育養成の段階から男女共同参画、ジェンダー意識を持ってもらう事が大事。デートDVなど10代から20代が対象になると思うので、大学生を対象に開催してほしいと思う。
- (提案団体) 是非、連携していきたい。
- (委員) 市は提案団体に委託するメリットとして、「スタッフの知識や経験の蓄積がある」としているが、具体的な内容が知りたい。
- (担当課) 提案団体がこれまでの事業で感じたことや参加者の声などで、新たな発見や気づきがある。それらを踏まえて対象者に応じたテーマや内容で事業展開ができていくこと。

3. 令和7年度宗像市人づくりでまちづくり事業補助金【めぶきコース】審査会について

- ① 団体名 : ニャンとワンの家（地域猫活動の促進、保護猫の譲渡会等）
申請内容 : エアコン設置
市関連部署 : —

申請団体から申請内容について説明

- (委員) 保護猫の譲渡や相談件数、エアコン設置した後の目標数値について伺いたい。
- (団体) 月1～2組程度の見学者があり譲渡は2匹程度。また相談件数は月3件～5件程度。数値目標は、月5～10匹程度は譲渡出来るようにしていきたい。
- (委員) 地域住民との協力はどのようにしているのか、また情報発信についてもどのように周知しているのか。
- (団体) ブログ（Web ページに日記等を残すもの）を7月から開設しており、併せてFacebook や Instagram でも発信中。
- (委員) 猫の環境を整えるためのエアコン設置申請であるが、将来的に猫の保護数が増えていくと、今後目標を設定した計画が必要と思うが。
- (団体) 保護猫は譲渡できるまで、人に慣れることや日常が送れるまで数か月を要する。保護する猫の状態にもよるため目標数値は立てづらい。

- ② 団体名 : 日の里ソフトテニス倶楽部（日の里地区の中学生に練習環境を提供、世代間交流）

申請内容 : 備品購入、会場使用料

市関連部署 : —

申請団体から申請内容について説明

- (委員) 市内のソフトテニスクラブとの違いや、会員の募集について伺う。
- (団体) グローバルアリーナのテニスクラブが市内からは少し遠い。身近な「日の里地区」でテニスを通して気軽に参加できるコミュニティを作りたいと思っている。会員募集は、市民活動・NP0 センターの HP の案内と併せて、中学校の掲示版で案内をしていきたい。
- (委員) 申請された予算は備品購入やコート使用料が中心となっているが、次年度の予算確保はどの様に考えているか。
- (団体) これからの周知で会員獲得数にもよるが、人づくりまちづくり補助金「みのりコース」の申請を視野にいれている。
- (委員) 会員数は8名のうち中学生は何人か。中学校の部活が地域へ移行する話があると考えたと中学生を取り込んでいかないといけないと思う。
- (団体) 現在会員の中学生は2人。審査会の終了後から募集にむけて周知していく。

③ 団体名 : NP0 法人しえるの会（障がいや障がい者への理解の促進、就労支援）

申請内容 : 託児委託料、印刷費

市関連部署 : —

申請団体から申請内容について説明

- (委員) 9月に開催する「第2回むなかた福祉マルシェ」に配布されるプログラム冊子について聞きたい。
- (団体) 福祉関係の各事業所の紹介や、子ども向けのスタンプラリーも掲載して全事業所を回れるようにしている。最後は景品を渡すように工夫した。
- (委員) 申請内容として託児委託料があるが、第1回目開催の時もあったのか。
- (団体) 第1回開催時も託児は準備しており利用は3人だった。今回は同日に宗像市の防災訓練がある。終了後に小学生以下のお子さんと立ち寄る人がいると予想されるので昨年よりスタッフを増やして準備している。

④ 団体名 : 宗像ビブリオバトル倶楽部（読書活動の推進）

申請内容 : チラシ作成費、会場使用料

市関連部署 : —

申請団体から申請内容について説明

- (委員) 令和8年度以降の活動費はどう工面していくのか。
- (団体) 今回申請する予算事業は、令和8年度以降も継続して行っていきたい。今年は継続で開催するための準備期間でもある。会場は音漏れしにくい宗像ユリックスを使用するが、宗像市図書館と共催という形で会場は準備できる予定。また

イベント開催時に協賛金を募りたいと考えている。協賛先の選定も含めて直ぐには難しいと思うが1年通して準備していく。

(委員) 中学校や高校との連携はあるか。

(団体) 市内中学校の図書館で地域の人とビブリオバトルを行った。また他の中学校や市内大学が独自に行ったビブリオバトルの見学も行った。大学生の大会ではコラボしようとの話もあり、これまでの活動を通じたネットワークが出来つつあると思っている。

(委員) 読書会について興味があるが、開催しているのを知らなかった。

(団体) 読書会は知人に声をかけて会員と一緒に実施しており周知はしていない。今後広めていくので案内をしていく。

(委員) 中学生が主体的に活動、発信していることは評価できる。その延長に中学生自身が社会参画していくとして、書店とコラボをして学生が選んだ作品でビブリオバトルを行い販売に繋げていくなど民間とのコラボの可能性もあると思う。

(団体) 書店や学習塾などは、当団体とリンクしていると思っている。ビブリオラリーでは市の図書課を通じて集計をしており、どの本が選ばれているか等PRをしながら繋げていきたい。

⑤ 団体名 : 手話サークル「シュワッチ」(手話講習会の開催、福祉ボランティア活動)

申請内容 : 周年事業の講師謝金

市関連部署 : —

申請団体から申請内容について説明

(委員) 予算書は「講師料」で計上しているが、内容は「劇団の公演」となっている。内容について聞きたい。

(団体) 福岡ろう劇団「オズの国へ」の公演の後に、トークショーを予定している。

(委員) 手話を習う方は増えているか。

(団体) 手話を主体としたドラマがあり受講者は増えた。手話は言語で、長い時間で習得していくもの。1つだけでも覚えていただくと聴覚障害の方は緊張がとけ安心できる。少しでも携わってほしい。

⑥ 団体名 : ママボラむなかた (未就学児を育てる母親への支援)

申請内容 : 団体PR経費

市関連部署 : —

提案団体から申請内容について説明

(委員) ショート動画20本の申請について、計画等が決まっていれば教えてほしい。

(団体) 活動場所の様子や運営側の想い、実際の風景や参加者へのインタビュー等活動がわかる動画にしたいと思っている。週1回は動画配信していきたい。

(委員) SNSに振り回されているように感じた。ホームページでは駄目なのか。

- (団体) ホームページは、「ママボラむなかた」等を検索して見れる。「ママボラむなかた」を知らない人に届けるには、画像や動画中心の Instagram がリアルタイムに情報を伝えることができる。新しく見る人の獲得や情報拡散に強いツール。SNS を上手く利用して知って貰いたいと思っている。
- (委員) これまで活動が蓄積している内容を、外へ出てこれない人に対しても、伝えることができる内容にしてほしい。

4. 検討会（総合審査）

非公開

5. その他

なし

～ 閉会 ～